平成 23 年10月 1日
第 53 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

農業施設の長寿命化に大きな力

農地・水保全管理支払交付金 新たな制度への取り組み決定



9月8日、「八方原の環境を守る会」の臨時総会を開催しました。多くの方の参加をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

総会では農地・水保全管理支払交付金制度への取り組みについて満場一致のご賛同をいただきました。この議決を受けて、市との協定締結に向けて細部の調整を行っているところです。

新制度は施設の保全維持管理に特化した交付金です。水路や農道、排水施設などの修繕によって施設を長く使うことを目指しています。

従来の農地・水・環境保全向上対策事業は、農家だけでなく地域内の住民が協力して行う「協同作業」の支援が主なものでした。私たちも作業の安全確保や効率性の向上のために、いろいろな施設の改修などを、専門家の協力を得ながら行ってきました。

今後はより高度な施設改修も可能になることになります。当面は水路の補修を集中的に行うことを計画していますので、ご協力お願いいたします。

収穫作業にご協力を

コンバインによる刈り取り作業が始まりました。収穫作業は天候と時間との勝負です。ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解をいただきますようお願いします。



農機メーカーのサービスマンと一緒に運転開始

台風12号の影響でぐずつき気味の天気が続いていましたが、からりと晴れ上がった9月22日、八方原地区の稲刈りがスタートしました。

ほぼ一年ぶりに稼働する大型コンバインはサービスマンの点検を受けながら刈り取り作業に取りかかりました。

10月10日前後まで収穫作業は続きますが、この間は圃場内の農道はコンバインの移動や籾の積み込み運搬と大きな車両が作業を行っています。従いまして、一般車両の通行は安全ためにもできるだけ避けていただきますようお願い申し上げます。

市道清掃奉仕作業に 36 名

敬老の日の直後に老人クラブの全国一斉奉仕作業が行われます。今年は台風の影響の雨天となり八方原地区は22日に延期して行われました。

地区内の市道幹線部分の路面清掃と側溝の泥上げが行われました。



バス停だった場所の草取りでも笑顔

17日に行われた小郡地域「敬老の日式典」で笑いがいかに体のために良いかという話がありました。笑うことで脳が活性化し、やっかいな「がん細胞」すら抑えてしまうこともあるというのです。今回の作業中も女性軍の笑い声は絶えませんでした。どうやら男性に比べて女性の方が元気な方が多いのはそのせいかもしれません。何はともあれ、ご苦労様でした。

この通信は http://www.harataco.org/sigeki/ で読むことができます

「ネバーギブアップ」見せたぞ！八方原の底力

本年は「おいでませ！山口国体　おいでませ！山口大会」の開催のために、毎年9月に行われる市体育大会は今年は開催されないなど、市内のスポーツ行事の日程が大きく変更になっています。例年7月に行われる予定だったソフトボール大会が9月25日に行われました。

昨年は準備万端用意していたものの雨のために大会が中止となり、市体育大会への挑戦権もくじ引きということになってしまいました。その結果、市の大会への出場権を得ることができませんでした。


賞状をを持つ原田哲夫監督を囲んで記念撮影

本年の八方原ソフトボールチームは昨年にも増して強力な布陣で大会に臨みました。目指すは地区代表として市の大会に出場すること。そのためにはAブロック優勝が必要です。

緒戦は矢足区との大接戦となりました。点の取り合いとなりましたが、最終回、抜けたら逆転負けという相手の大飛球を中堅手がナイスキャッチ。12対11という僅差で勝利を収めました。

波に乗って2回戦の蔵敷区にも12対10と打ち勝ちました。そして決勝戦は金堀区との一戦となりました。金堀区はクラブチームとしても活躍したことのあるチーム、メンバーは入れ替わっていますが、ゲーム運びには定評のある強豪です。


決勝戦で塁上を駆け回る八方原チーム

八方原チームは、序盤から押し込まれました。金堀区は猛烈な打力で外野を次々と襲います。いよいよ最終回、点差は9点、敗色濃厚となっていました。しかし、ここからが八方原チームの底力。原田敦夫選手のソロホームランが反撃の狼煙（のろし）となりました。次々に塁上を埋め、走り抜け、とうとう13対14の1点差まで詰め寄りました。ランナーを一人おいて一回戦でナイスキャッチでチームを救った原田敏夫選手が打席。

渾身（こんしん）の力で振り抜いたバットに放たれたボールは野手の頭上を飛び越えて行きました。起死回生、ミラクル逆転劇の完結。15対14で八方原チームの優勝となりました。

歓喜の渦と無念の沈黙の交錯する一瞬。その後の慰労会でもその余韻は覚めませんでした。素晴らしい試合をありがとうございました。

美しい花壇がつなぐ地域の絆


花の色その量、お世話をする人々の努力の結晶

小郡地域花いっぱい運動コンクールの審査が9月13日行われ、結果が発表になりました。どこもそれぞれ個性豊かな花壇を演出しておられましたが、規模的なことや、多くの人に見てもらえるかなどの立地条件などで順位が決まりました。

八方原区では6班の育てている花壇は「県モデル団体」として審査対象外ですが、相変わらず素晴らしい出来映えです。他の3つの団体はそれぞれ美しく花を咲かせることができましたが、今回の表彰には入りませんでした。また来年頑張りましょう。